

# 日本特殊陶業株式会社

## 第116期 株主通信

2015年4月1日から2016年3月31日まで

80  
years

**NGK** **NTK**  
スパークプラグ ニューセラミック  
日本特殊陶業

***IGNITE YOUR SPIRIT***

証券コード：5334

# 第7次中期経営計画（「進化」の先の

株主の皆さまには、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは、「良品主義」「総員参加」のもと、創意工夫・改善という変化を積み重ね、今日の日本特殊陶業を作り上げてきました。これこそが当社グループの基本であり、今後もこの基本を忘れずにさまざまな課題に取り組まなければなりません。

そこで当社グループは、2010年に10年後のあり方を見つめた長期経営計画「日特進化論」を掲げました。深掘りする「深化」、新しくなる「新化」、進む「進化」の3年ごとのステージをふまえて、世界中のお客さまに価値のあるモノをお届けできる圧倒的No.1のものづくり企業であること、高収益率企業であること、発展的企業であること、そして人“財”企業であることを実現し、2020年に全てのステークホルダーに対して「真価（真の価値）」を提供することを目指しており、2017年3月期は第7次中期経営計画のスタートにあたります。

今回の第7次中期経営計画では、『日特進化論』の総仕上げとなる「進化の3年」と、その先の「真価」を見据えた5年間で計画を策定しました。第6次中期経営計画の実施状況から得た経営課題を解決し、2020年に「真価」を提供できるよう、鋭意取り組んでいきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ■ 日特進化論



## 第7次中期経営計画

2017年3月期～  
2021年3月期

### 10年後の日特

●ものづくり企業 ●高収益率企業 ●発展的企業 ●人“財”企業

代表取締役  
取締役会長兼社長  
社長執行役員

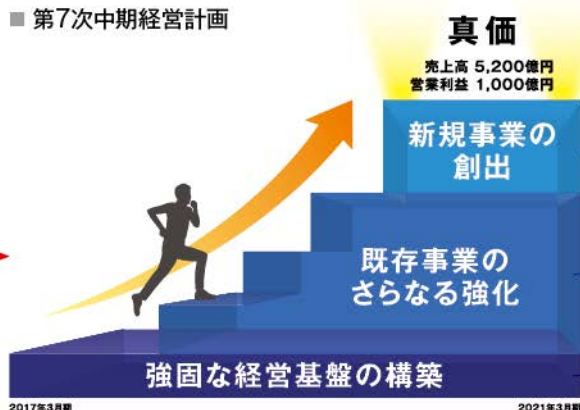
尾堂 真一

# 「真価」を見据える5カ年計画)スタート

## 基本方針

## 現業と新ビジネスの加速度的な発展

### ■ 第7次中期経営計画



## 取組課題

### ① 既存事業のさらなる強化

プラグ事業やセンサ事業においては、新興国市場でのシェア拡大、環境規制対応製品の強化、2015年に当社グループ企業となったWells社を活用した自動車関連製品の拡充を通じて、さらなる成長に向けて取り組んでいきます。セラミックパッケージ事業においては、黒字化を目指し、収益に貢献する事業に再生していきます。さらに、同じく2015年に当社グループ企業となったNTKセラテック社とのシナジー効果により、半導体製造装置用部品のさらなる強化を図ります。

### ② 新規事業の創出

「次世代自動車」を含めた非内燃機関向けの新製品を立ち上げ、「環境・エネルギー」と「医療」を中心とした新規事業のポートフォリオを高めていきます。

### ③ 強固な経営基盤の構築

「既存事業のさらなる強化」および「新規事業の創出」を支えるためには、「強固な経営基盤の構築」が不可欠です。具体的には、グローバルな全社最適視点でスピード経営を実行すること、フェアな処遇によるグローバルでの人材活用を実行すること、さらには責任と権限を明確にし、横串での統括管理機能を目指した組織改編を実行していきます。

## 業績目標

第7次中期経営計画最終年度となる2021年3月期に売上高5,200億円、営業利益1,000億円を目指します。

### ■ 経営指標

	2016年3月期	2021年3月期目標
売上高	383,272百万円	520,000百万円
営業利益	66,279百万円	100,000百万円
営業利益率	17.3%	20%以上
ROIC	11.6%	13%以上
配当性向	29.7%	30%以上





自動車関連事業

▲日特スパークテックWKS社 新工場

## 愛知県小牧市で スパークプラグ用部品の 新工場を竣工

当社は、主力製品のスパークプラグ事業において、各拠点の能力増強および新工場の立ち上げを進めております。竣工した当工場は、当社の100%製造子会社である「株式会社日特スパークテックWKS」の新工場として、スパークプラグの中心電極、端子等の部品を製造してまいります。

※2016年2月より社名を「株式会社日特製作所」から「株式会社日特スパークテックWKS」に変更しました。



医療

## 医療事業の拡大を狙い、 日本エム・ディ・エム社と 提携

これまで当社は、セラミックス技術を応用した各種人工骨製品について、国内での製造および販売を行ってまいりましたが、今後は事業ドメインを整形インプラント製品の製造および販売に拡大し、グローバルマーケットへの展開を推進するため、日本エム・ディ・エム社と提携しました。日本エム・ディ・エム社は、改良型の製品開発力、整形外科分野での製品群、さらには北米における製造販売拠点を有しており、資本関係も含めて強固な協業関係を構築することで、当社が目標とする研究開発型と改良型を併せ持った整形インプラント事業の拡大に大きく貢献すると考えています。

MDM 株式会社 **日本エムディエム**

※当社が日本エム・ディ・エム社の発行済株式総数の30%に相当する株式を取得したため、日本エム・ディ・エム社は当社の持分法適用関連会社となりました。

▶日本エム・ディ・エム社の人工関節



# 80 years

## 日本特殊陶業は今年で80周年を迎えます

当社は、ステークホルダーの皆さまの温かいご支援のおかげで、2016年11月に創立80周年を迎えます。これにあわせて、コーポレートメッセージの策定など、広報・ブランディング活動を積極的に展開しています。

### IGNITE YOUR SPIRIT

[IGNITE]…「火をつける、燃え立たせる、奮起させる」という意味を持ち、  
当社の“DNA”と“未来”をイメージ。

[YOUR SPIRIT]…従業員そして世界の一人ひとりの「心、精神、魂、情熱」をイメージ。

#### ◀コーポレートメッセージ策定

情熱をもって社業に邁進するという私たちの強い決意と、ステークホルダーの皆さまの心が動くような感動をお届けする企業になりたいという想いが込められています。

#### 新企業広告のイメージキャラクターに岡田准一さんを起用▶

IGNITE YOUR SPIRITの世界観を表現しながら疾走する岡田准一さんが、当社の社名にもある「特殊」であることを強みとし、さまざまな困難を乗り越え、常識を超えていく様子が描かれています。テレビCM、ポスター、コーポレート・ウェブサイトなど、さまざまな場所や手法で「日本特殊陶業の精神」をお伝えしていきます。



#### ◀コーポレート・ウェブサイトをリニューアル

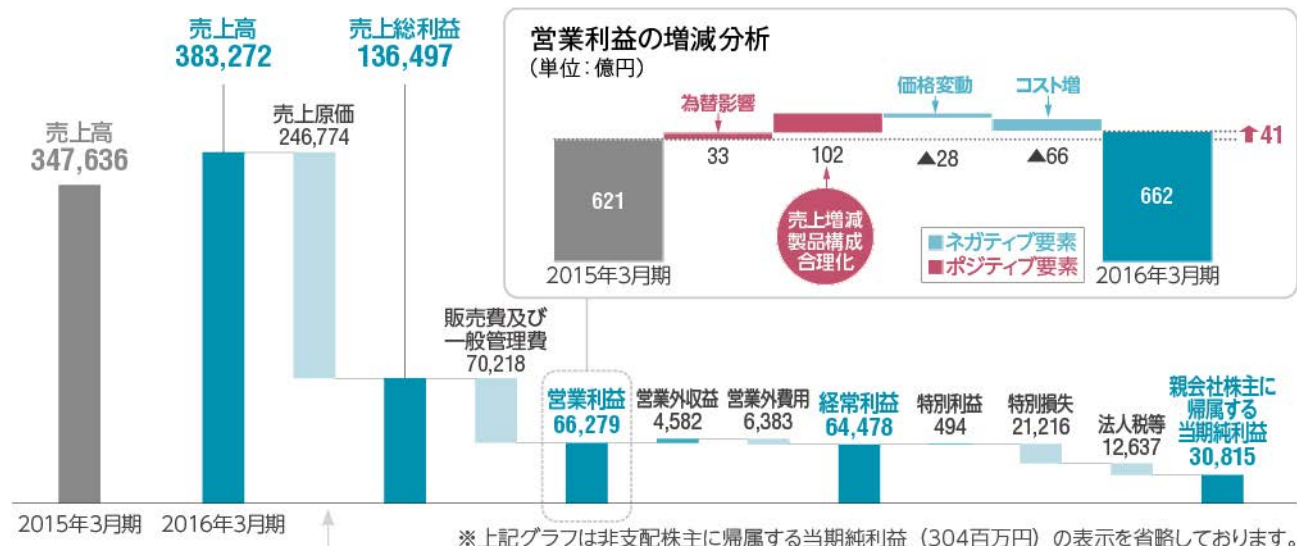
80周年を契機とした広報・ブランディング活動の一環として、コーポレート・ウェブサイトをリニューアルしました。80周年を記念した特別企画「80周年のあゆみ」やプラグの製造工程の紹介動画など、今までにないコンテンツが充実したウェブサイトとなりました。是非、ご覧ください。

➔ <https://www.ngkntk.co.jp/>



## Financial Data 財務状況

### ■ 連結業績ハイライト (単位: 百万円)



### POINT

2016年3月期は、売上高は6期連続の増収、営業利益は3期連続の増益となり、これらの数値は過去最高を更新しました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益においては、第2四半期に計上した米国反トラスト法違反に関連した一部顧客に対する和解金148億37百万円が影響し、減益となりました。

### ■ 次期予想 2017年3月期 (単位: 百万円)

売上高	369,800
営業利益	42,500
経常利益	45,300
親会社株主に 帰属する 当期純利益	30,500

### ■ 売上高営業利益率 (単位: %)

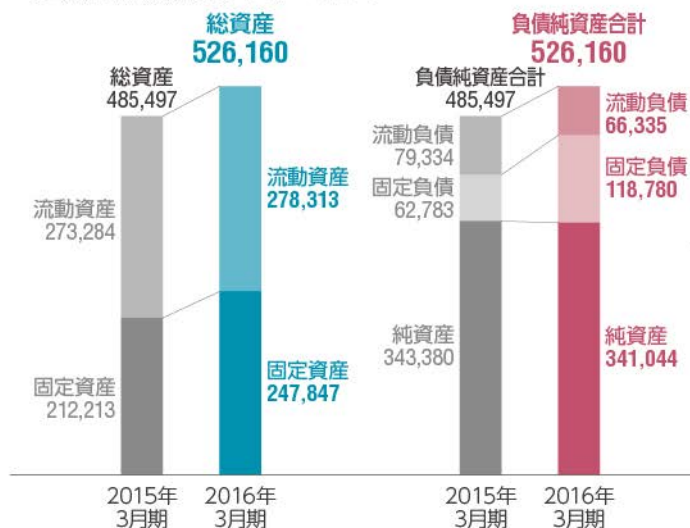


### ■ ROE (単位: %)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結貸借対照表 (単位: 百万円)



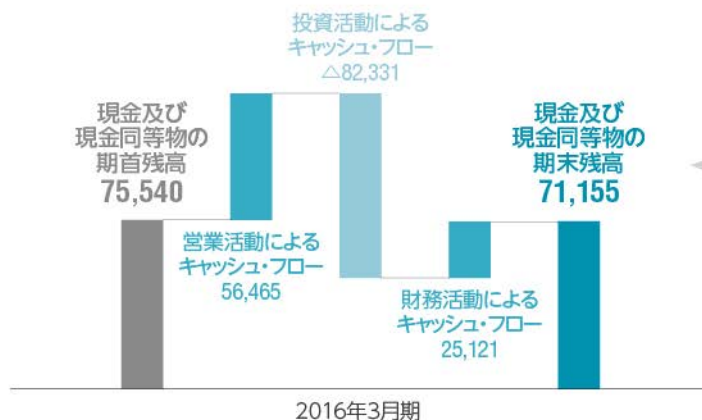
POINT

2016年3月期は、主力の自動車関連事業をさらに強化するための設備投資に加え、「将来の事業拡大」のためのM&Aにも積極的に資本を投入しました。

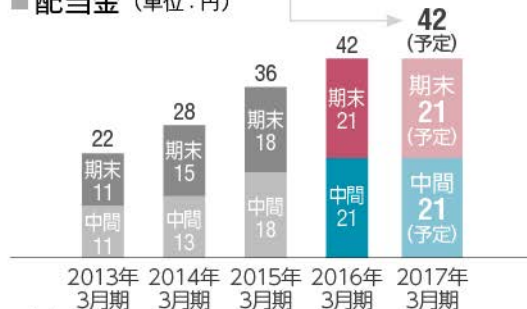
POINT

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営における最重要政策のひとつと認識し、安定的な配当の継続を基本方針としております。また、収益に応じた利益の還元も重要と考えており、連結での配当性向30%以上を目標にして、基本方針である安定的な配当水準や、将来の成長に必要な投資案件を総合的に考慮した上で、中間および期末配当を継続的に実施していきます。さらに、資本効率の向上を図るために自己株式の取得も有効と認識しており、必要に応じて実施していきます。2016年3月期の年間配当金は42円とさせていただきます。なお、2017年3月期につきましても、年間42円を予定しています。

■ 連結キャッシュ・フローの概要 (単位: 百万円)



■ 配当金 (単位: 円)



※ 上記グラフは現金及び現金同等物に係る換算差額 (△3,639百万円) の表示を省略しております。

詳細は当社WEBサイトの投資家情報ページでもご覧いただけます。▶ <https://www.ngkntk.co.jp/ir/index.html>

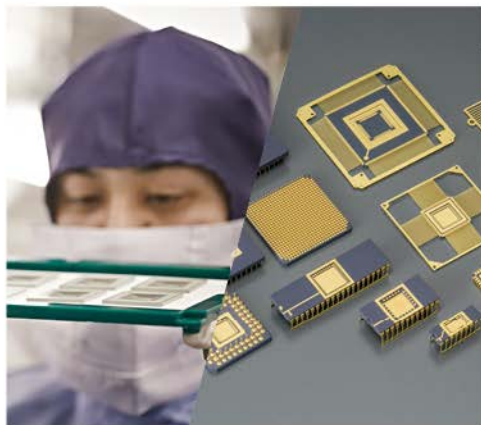
## 自動車関連事業



売上高 **3,228** 億円 営業利益 **711** 億円

北米や欧州を中心として自動車販売が伸びており、新車組付用製品も補修用製品も販売が堅調に推移しました。また当連結会計年度から連結子会社としたWells社の売上も寄与しました。為替相場においても後半は円高に振れたものの期を通しては円安基調であることから売上高増加に寄与しました。この結果、前期と比べ売上高は10.3%アップの3,228億56百万円、営業利益は4.1%アップの711億34百万円となりました。

## テクニカルセラミックス関連事業



半導体関連

売上高 **356** 億円 営業損失 **47** 億円

携帯電話およびスマートフォン向けセラミックパッケージは客先所要の低迷により売上高が伸び悩みましたが、収益面では生産性の向上や原価低減など合理化活動を行い改善に努めてきました。また当連結会計年度から連結子会社としたNTKセラテック社(旧:日本セラテック社)の売上、利益が当事業に大きく寄与しました。一方、オーガニックパッケージの生産委託先での生産終了に伴う資本・業務提携解消により事実上当事業から撤退し、不採算製品の目途をつけました。この結果、前期と比べ売上高は21.0%アップの356億35百万円、営業損失は47億44百万円(前期は69億8百万円の営業損失)となりました。



セラミック関連

売上高 **209** 億円 営業利益 **0.4** 億円

工作機械向けおよび産業機器向けの製品出荷が主に欧州や東南アジアを中心に堅調に推移しました。並行して、産業機器向けでは「選択と集中」の取り組みを行っております。この結果、前期と比べ売上高は0.9%アップの209億95百万円、営業利益は93.6%ダウンの47百万円となりました。

※他に、「その他」の区分として、売上高37億85百万円、営業損失1億58百万円があります。

※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。



## ■ CSR Efforts 日特のCSR ■

当社は世界各国の皆さまのご理解とご支援により、最適な製品を最良の品質でお届けするグローバル企業として成長してきました。日本国内にとどまらず、世界各国でCSR方針に基づいて、地域社会とのコミュニケーションを図るとともに、快適な社会づくりのため、さまざまな形で社会貢献活動への参画を進めています。



当社ブースでは医療用酸素濃縮装置を使用した酸素バーをオープンし、ご来場の皆さまに高濃度酸素をご体感頂きました。

2016 GOYAS  
WOMEN'S  
MARATHON

### 「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2016」に協賛

当社は、「女性の活躍推進」を重要な経営課題として位置付け、女性社員の多様な働き方を支援する制度を導入するなど、ダイバーシティ活動に積極的に取り組んでいます。この「頑張る女性を応援したい」、そして「地域社会の活性化に貢献したい」という想いから、前回大会に引き続き、2年連続で本イベントに協賛しています。

### 近隣道路の清掃活動を実施 (米国ウェストバージニア州)

米国特殊陶業(株)のウェストバージニア工場では、近隣道路の景観を保つため「Adopt-A-Highwayプログラム」に2001年から参加しています。

このプログラムは、幹線道路の一部区間を「養子」として引き取った企業や市民団体が清掃や植栽活動を行い、自治体は該当区画に「里親」である看板を設置するもので、同社はリバー・バンド・ロード(ウェストバージニア州道)の里親になっています。



## 取締役



代表取締役  
取締役会長兼社長  
社長執行役員  
尾堂 真一



代表取締役  
取締役副会長  
柴垣 信二



代表取締役  
取締役副社長  
副社長執行役員  
大川 哲平



取締役  
副社長執行役員  
河尻 章吾



取締役  
専務執行役員  
中川 武司



取締役  
専務執行役員  
川合 尊



取締役  
常務執行役員  
奥山 雅彦



社外取締役  
大瀧 守彦



社外取締役  
安井 金丸



社外取締役  
玉川 恵

## 監査役



常勤監査役  
松成 慶一



常勤監査役  
水野 文夫



社外監査役  
佐尾 重久



社外監査役  
増田 健一



## 執行役員

---



常務執行役員  
鈴木 隆博



常務執行役員  
成田 宜隆



常務執行役員  
天野 孝三



執行役員  
石田 昇



執行役員  
山崎 耕三



執行役員  
時岡 伸行



執行役員  
松原 佳弘



執行役員  
小島 多喜男



執行役員  
田中 穰



執行役員  
谷口 雅人



執行役員  
松井 徹



執行役員  
加藤 三紀彦



執行役員  
角谷 正樹



執行役員  
磯部 謙二



執行役員  
前田 博之

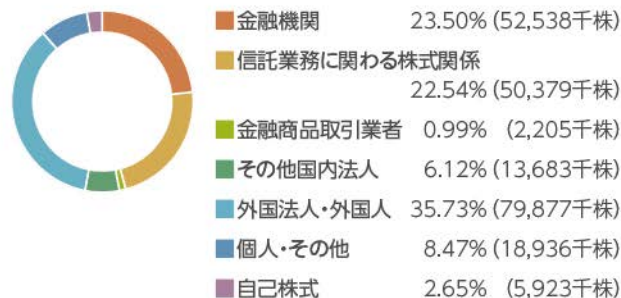
## ■ Stock Information 株式データ (2016年3月31日現在) ■

資本金	478億69百万円
発行可能な株式の総数	390,000,000株
発行済み株式の総数	223,544,820株
株主数	13,109名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	16,752	7.70
明治安田生命保険相互会社	13,794	6.34
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	12,857	5.91
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	12,578	5.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	12,447	5.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,541	3.01
全国共済農業協同組合連合会	6,138	2.82
野村信託銀行株式会社(投信口)	4,025	1.85
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社トヨタ自動車口	3,929	1.81
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	3,614	1.66

当社は、2016年3月31日現在自己株式を5,923千株保有していますが、上記大株主から除外しております。  
持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別持株比率



事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
同連絡先	同上
上場証券取引所	東京・名古屋(第1部)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.ngkntk.co.jp/ir/public_notice/">https://www.ngkntk.co.jp/ir/public_notice/</a> (ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)
(ご注意)	1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

**NGK NTK**  
スパークプラグ ニューセラミック  
**日本特殊陶業**



事業内容や財務情報の詳細は  
当社WEBサイトをご参照ください。

<https://www.ngkntk.co.jp/>



**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

